

視聴覚教育

NO 164

発行日
2. 7. 5発行
岡崎市AVL
編集

広報委員会

心でつくる

現職教育視聴覚部部长

大須賀 明彦

昭和六十三年度の放送文化賞を受賞された北林谷栄さんがNHKのインタビューに答えて「私は若い時はその姿を学ぼうと心がけたが、今はその心を学ぼうと思ってる」と話されました。若い時からよくお年寄の役がまわってきて、その演技で苦勞なさった時の話の中の言葉です。

私たちは何かをしようとするとき、まずまねるということから入るように思います。北林さんのように演劇をするのにも、放送をするのにも、そして映画やテレビ教材を作るのにも、その道の一流と言われる人たちのものをまづ頭にかかべ、それに少しでも近づこうと努力します。文化というものは本来そういうもののようにも思います。

すばらしい放送だったなあと思つたものを、今もう一度聞いてみると、なぜこの放送を自分はずばらしいと思

つたのだろうと不思議に思うものもあれば、すばらしいものだったなあと思つたのに、それがどの放送だったのか、何の放送だったのか、すばらしいなと思つたこと以外には何も思い出せないものもあります。

北林さんの言葉を思い浮かべながら、それは技術の問題ではなく、心の問題ではないだろうかと考えました。

情報を送り出す側が観客や視聴者に媚び、奇をてらつて注目を集めようとしたり、単に美しさだけを提供しても一時的にはおもしろいとか、美しいとかいう印象を与えても、そこには美しい心、飽くことのない本当のものを求めようとする心がありませんから所詮それまでで、いつしか忘れ去られてしまうのではないのでしょうか。

ベルリンオリンピックの河西アナウンサーが行つた、「前畑がんばれ」という放送が名放送だと言われますが、言葉だけで言えば、河西アナウンサーは「前畑がんばれ」と「前畑リード」ということを言い続け、絶叫したに過ぎません。それでもなお名放送だと言われる所以は、河西アナウンサー自身が、日本人として前畑選手に本当に勝つてほしいと思ひ、その心が私たち日本人に伝わつたからだと思ひます。

テレビやラジオで今いろいろなことが大きな問題となつています

が、それは視聴率や技術を求めるあまり、私たちが心を忘れかけているように思えてならないのです。



校内放送の現状と今後の課題

秦梨小学校 小林 憲

昨年度の校舍増改築にともない、新しく放送室・スタジオが整備された。視聴覚機器も充実しており、授業や校内放送にフルに活用しなければと考えている。

校内放送は月曜から金曜までの給食の時間に行っている。常時放送されている内容は「今日の献立」と「給食委員の報告（給食当番の爪・マスク調べ）」である。その後、他の委員会と協力して特別番組を企画している。今は保健委員の特集で、虫歯

予防の放送を行っている。委員会の特番がない時は音楽を流すことが多い。レコードの種類が多くないので、どうしてもマンネリ化してしまう。この様なマンネリ化を防ぐために、曜日によって音楽のジャンルを特定し（月曜はクラシック、火曜は童謡……）、放送にメリハリをつけるように計画したい。

また、ビデオ放送も検討している。週一時間の専門委員会の時間を使って、自作ビデオの制作に力を入れていきたいと考えている。ビデオ放送は時間内に給食が食べられない、テレビを見ながら食事をする習慣をつけさせたくない等問題も多いので数回の試験放送をもとに検討したい。しかし運動会等の行事の記録は、できる限り見せてやり、自己を省みる機会を与えてやりたいと思っている。



夏期実技講習会のお知らせ

ライブラリーだより

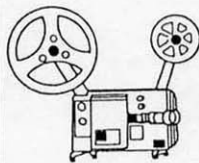
— 視聴覚教育技術者(16ミリ映写機)講習会 —

☆ 7月28日(土)～29日(日) 於【太陽の城】

9:00～17:00 (28日は13:00～17:30)

☆ 16ミリ映写機の操作など (学科・実技試験あり)

☆ 対象 16ミリ映写機操作認定証をお持ちでない方(教員・一般)



— ビデオ講習会 —

☆ 8月2日(木)～3日(金)

8:30～16:00 於【連尺小学校】

☆ ビデオカメラ、VTRの基本操作、撮影、編集など

☆ 対象 ビデオ制作の初歩的な技術を修得したい方(教員・一般)

— パソコン講習会 —

☆ 8月2日(木)～3日(金)

8:30～16:00 於【東海産業短期大学】

☆ パソコンの基礎理解、実習

☆ 対象 教員

— 校内放送講習会 —

☆ 8月6日(月) 8:30～11:30 於【井田小学校】

☆ 放送局アナウンサーによる校内放送練習

☆ 各校の校内放送担当者と児童・生徒1～2名

